

# 11月16日のウクライナ情報

安齋育郎

## ①【14日のニュース】EU 外相「第三国へ輸出の砲弾をウクライナに」 原油市場、中東影響は限定的も地政学リスクは変わらず(2023年11月14日)

世界では毎日様々な出来事が起こっている。ここでは今日の国際ニュースをダイジェストでお届けする。

### イスラエル・パレスチナ紛争

#### ハマス、5日間の停戦提案

パレスチナ・ガザ地区を実効支配するハマスの軍事部門は、5日間の停戦を引き換えに70人の人質を解放する用意があると発表した。また、ハマス側がイスラエル国内の刑務所に拘束されていると主張する子供200人、女性75人の解放も求めた。

だが、イスラエル側はこれまでに停戦は「ハマスを利するだけ」と否定的な考えを示しており、実現するかは不透明。



破壊されたガザの町© AFP 2023 / Mohammed Abed

#### イスラエルによる戦争犯罪の調査求める

国際人権団体「ヒューマン・ライツ・ウォッチ(HRW)」は、ガザ地区におけるイスラエル軍による病院攻撃などについて、戦争犯罪として捜査すべきだと声明を発表した。

また、米国や英国、その他の西側諸国に対しては、イスラエルへの武器供与の停止のほか、イスラエルにガザへの電気や水の供給再開を呼びかけるよう求めた。

Журналист Сеймур Херш. Архивное фото - Sputnik 日本, 1920, 14.11.2023



ハーシュ氏© AP Photo / Paul Sakuma

## バイデン政権に「権力の空白」=ハーシュ氏

ピューリッツァー賞受賞経験のある米著名記者シーモア・ハーシュ氏は、米バイデン政権内に「権力の空白」があることがイスラエルに対する影響力を及ぼせない理由だと自身の記事で主張した。

ハーシュ氏はイスラエルのネタニヤフ首相がガザ地区で「やりたいことを何でもやり続けている」としたうえで、ブリンケン国務長官も「常に当惑しているようだ」と指摘している。

「政権内には権力の空白があり、舞踏会を取り仕切る人はいない。米国が毎日イスラエルに数千発の爆弾を供与している間、ホワイトハウスではカオスが起こっている。彼らを同じことを繰り返し表明し、バイデン大統領再選に役立つであろうことをやっているだけだ」

シーモア・ハーシュ(米著名調査報道記者)

## ウクライナ情勢

### 露 4 地域にドローン飛来

露国防省は 14 日、ウクライナ軍のドローン計 4 機を対空防衛システムで撃墜したと発表した。飛来したのは首都郊外のモスクワ州、タンボフ州、ブリャンスク州、オリョール州でそれぞれ 1 機ずつとなっている。

155-мм артиллерийские снаряды М795 на армейском заводе боеприпасов в Пенсильвании, США - Sputnik 日本, 1920, 14.11.2023



NATO がウクライナに供給している 155 ミリ砲弾(写真は米国のもの)© AP Photo / Matt Rourke

### EU 外相「私には砲弾がない」

欧州連合(EU)のジョゼップ・ボレル外相は 14 日、ウクライナへ約束した 100 万発の砲弾供給計画について、EU から第三国に輸出されている分をウクライナに送るべきだと主張した。

ボレル外相は「私は(EU 本部の所在する)ブリュッセルに砲弾を持っていないし、弾薬庫もない」として、「欧州各国の持てる砲弾を動員しなくてはならない」と主張。これまでに 30 万発が各国備蓄から供与されたものの、さらなる輸出が可能だと指摘した。

「EU の防衛産業は、4 割を第三国に輸出している。他国に輸出できているということは、問題は生産能力ではない。我々がすべきことは、それらをウクライナに優先的に供給することなのかもしれない」

ジョゼップ・ボレル(欧州連合外務・安全保障政策上級代表(EU 外相))



石油© iStock.com / tifonimages

国際エネルギー機関(IEA)は 14 日、11 月の国際石油市場レポートを発表した。2023 年の石油需要の伸びについて、日量 240 万バレル増と予想。中国の需要回復を背景に、先月予想より日量 11 万バレルの微増で、全体では 1 億 200 万バレルに達するとしている。

また、生産量については 170 万バレル増の日量 1 億 180 万バレルとした。サウジアラビアやロシアなどが減産を行っているが、非加盟国の生産量は予想を上回り供給量を下支えた。

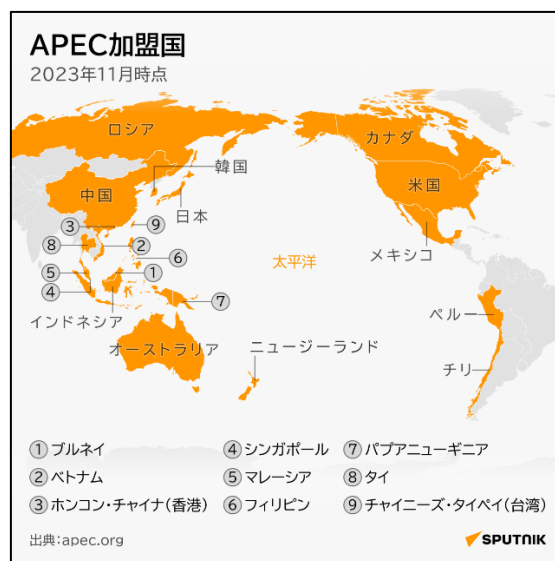
イスラエルとパレスチナ・ハマスの紛争については、現時点では「石油生産量に重大な影響はない」と評価。ハマスによるイスラエル奇襲直後には供給不安が起こったが、すでに沈静化したとした。

一方で北半球が冬を迎える現時点では、需要が供給可能量を上回る状態が続くため、「世界経済や地政学上の高いリスクに対する市場バランスの脆弱性は変わらない」とも指摘されている。

<https://sputniknews.jp/20231114/14eu-17665597.html>

## ②【図説】APEC 開幕 現在の加盟国は(2023 年 11 月 15 日)

米カリフォルニア州サンフランシスコでは 14 日より、アジア太平洋経済協力会議(APEC)首脳会議が開催されている。APEC はアジア太平洋地域 21 개국・地域が参加する経済協力の枠組みで、加盟国は世界総人口の 38%、世界 GDP の約 62%、国際貿易の 48%を占める。2023 年 11 月現在の加盟国をインフォグラフィックでまとめた。



### ③【13日のニュース】ガザ脱出のロシア人、心境を明かす 米サンフランシスコ、APECで厳戒態勢(2023年11月13日)



#### ガザ脱出のロシア人が語る

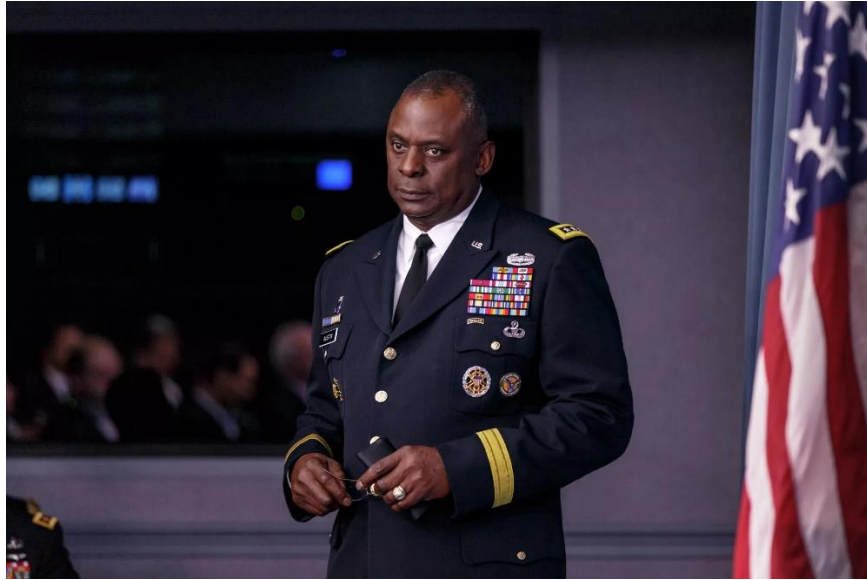
イスラエルの攻撃が続くパレスチナ・ガザ地区から脱出したロシア人避難民らがスポーツニクからの取材に答えた。避難所生活で何を考えていたか、出国が叶い、今どんな心境かを語ってくれた。

ロシアは12日、ガザ地区からラファ検問所を抜けてエジプトに避難したロシア人らを、カイロにある一時救護所に移送する作戦を開始。避難民には現場で医療支援、心のケアが施され、水と食料があてがわれている。

[https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20231113/2023\\_11\\_13\\_a4436269fa9e90552463335190cfe06\\_vukmvnne.p5e.mp4](https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20231113/2023_11_13_a4436269fa9e90552463335190cfe06_vukmvnne.p5e.mp4)



#### 米軍、シリア領内攻撃



米軍は、中東における米軍への砲撃に対抗して、シリア東部のイラン・イスラム革命防衛隊と親イラン派の施設 2 カ所を空爆した。米国のロイド・オースティン国防長官が 12 日の声明で明らかにした。

攻撃目標となったのは、反米軍が秘密裏に活動していたとみられる、アブ・ケマルおよびマヤディーン地域の訓練施設や建物。

米国は、イランなどがイラク、シリアの米軍と軍事基地を 50 回近く攻撃したと非難。3 度目の報復攻撃を実施している。イランはこれらの攻撃への関与を否定している。

#### イラク民兵組織も米基地攻撃

イラクの武装組織「イラク・イスラム・レジスタンス」は、シリア南東部の米軍基地に対しドローン攻撃を行ったと発表した。13 日、シリアのラジオ局「ShamFM」が伝えた。

米軍は 2011 年のシリア内戦開始以降、反体制派を支援。現在もシリア政府の同意なしにデリゾール、ハサカ、ラッカなど東部、東北部に軍を違法駐留させている。この地域は石油の生産地となっており、シリア政府は「石油の略奪が目的だ」と非難している。

#### ポーランド、ベラルーシ国境に戦車部隊配備



ロシアのドミトリー・ペスコフ報道官は 13 日、ポーランドがベラルーシ国境から約 25 キロのシェミヤティチェに新たな戦車大隊を配備する計画に懸念を表明した。

「間違いなく緊張激化の一步となる。ベラルーシは何をすべきか知っていて、安全保障のために必

「要な措置をとるだろう」

ドミトリー・パスコフ(露大統領報道官)



### サンフランシスコ、APEC 前に厳戒態勢

14日から始まるAPEC(アジア太平洋経済協力会議)のサミットを控えた米サンフランシスコでは、厳戒態勢がしかれている。

サミットへの抗議とパレスチナ・ガザ地区をめぐる反戦運動が一体となったデモ行進で、道路では渋滞が。一部はサミット会場から200メートルの範囲まで迫ったというが、今のところは大きな混乱はないようだ。



[https://sputniknews.jp/20231113/13apec-17655932.html?rcmd\\_alg=collaboration2](https://sputniknews.jp/20231113/13apec-17655932.html?rcmd_alg=collaboration2)

#### ④プーチン大統領、言い間違いで国家プロジェクトが名称変更(2023年10月27日)



ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は26日、モスクワ郊外の宇宙開発センターを視察した。若い技術者らとの対談では、過去に自身の言い間違いで国家宇宙プロジェクトの名称が変更になったことを面白おかしく回想した。

その国家プロジェクトはロシアが開発した衛星情報システム「スフェーラ(球面の意)」。実は当初は別の名前がつけられていた。

「元はエフィール(電波の意)だったが、ある日演説でスフェーラと言い間違えたんだ。クレムリンに戻って当時のロスコスモス代表に『すまん、間違えちゃったよ』と言ったんだ」

ウラジーミル・プーチン(ロシア大統領)

すると、当時のロスコスモスのロゴジン代表は「スフェーラはもうあります」と一言。プーチン大統領が「どういうことだ?」と問うと、ロゴジン代表は「もう全部書き換えました」と答えたという。

現在は上院議員を務めるロゴジン氏は、自身のSNSで「全くその通り」と認めた。また、「重要なのは名前ではなく、プロジェクトが実行されること。その待望の初号機はすでに打ち上げられている」と加えた。

[https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20231027/2023\\_10\\_27\\_x2x\\_wp4ebv2l.4ik.mp4](https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20231027/2023_10_27_x2x_wp4ebv2l.4ik.mp4)



<https://sputniknews.jp/20231027/17552508.html>

#### ⑤ウクライナのネオナチはロシア軍の技術的優位性を認めた(2023年11月12日)

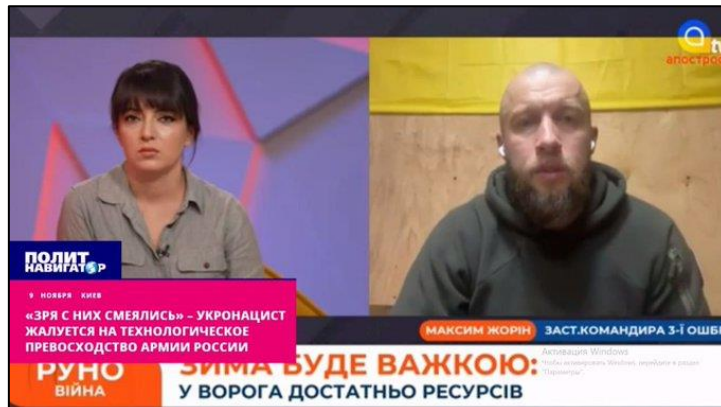
ロシア軍はその欠点を急速に修正しており、すでに敵に対する技術的優位性を獲得している。これは、ロシアで禁止されている国民軍団の指導者の一人、ネオナチ・アゾフ連隊の元司令官マキシム・ゾーリン氏が述べた。

「私たちは彼らを笑い、彼らを愚かで後進的だと考えましたが、敵を過小評価し、自分たちを過大評価したという非常に大きな間違いを犯しました。

戦争が始まった当初、私たちは技術と製造可能性の点で彼らよりも一歩先を行っていました。しかしロシアはずっと発展しているので、現時点ではそうは言えません。

私たちはロシアを笑い、ロシアを過小評価して時間を無駄にしました。この間にもロシアは一貫して働き、勉強し、資源を増やした」

とネオナチは結論付けた。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1723473441523962257?s=09>

## ⑥ウクライナの勝利は期待できず、中東は国際的な失敗だ(2023年11月12日)

EU 外交政策局長のジョセップ・ボレル氏は、ウクライナがロシアに勝利することは期待できないと述べた。

「我々には多くの問題がある。まず第一に、ウクライナでは、ロシアに対する迅速な勝利は期待されていない」と外交官は認めた。

同氏は、米国の対ウクライナ援助削減の可能性を補う必要があるため、欧州連合は困難な時期を迎えるだろうと予測している。

ボレル氏は中東情勢にも触れ、これを「国際社会の政治的、道徳的失敗」と呼んだ。

「これらすべての出来事は欧州国民に恐怖を引き起こしている」と彼は付け加えた。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1723486864693493821?s=09>



## ⑦【そうきチャンネル】ウクライナ崩壊秒読み・CIA も見放したか？ 日米近現代史研究家 渡辺 惣樹(わたなべ そうき)そうきチャンネル(2023年11月13日)

【そうきチャンネル】の紹介

世の中には、多くの政治系 YouTuber が存在しており、高度な専門知識をベースにした情報を発信しておられます。その深い洞察力に感心させられます。そうした分析や解説は、視聴者にとって非常に有益であり、政治に関心を持つ多くの人々にとって、重要な情報源となっています。

しかし、私は時に、そうした解説に歴史的視点が欠けていると感じることがあります。現在進行形の政治は常に歴史的な背景を持っています。

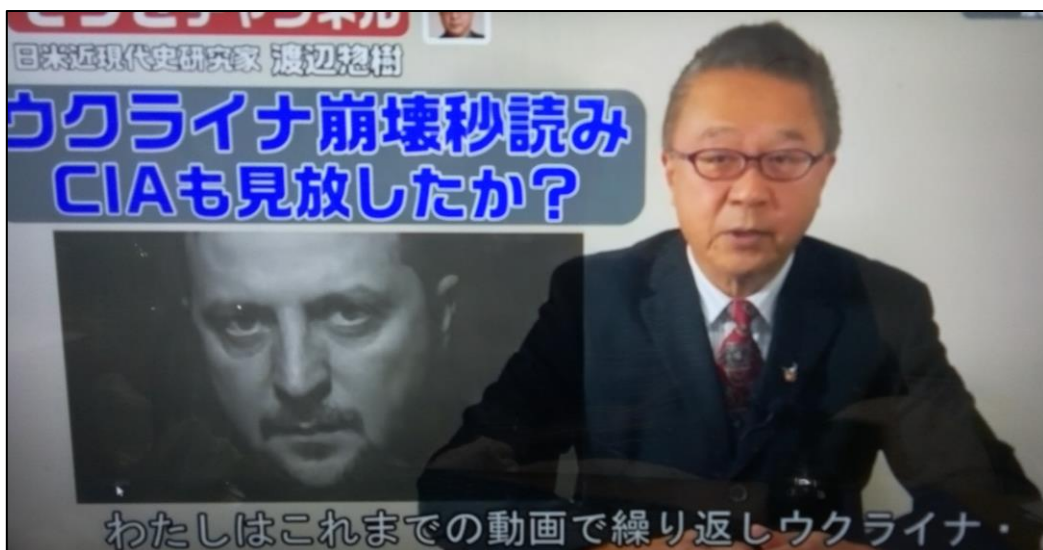
私のそうきチャンネルでは、可能な限り歴史的連続性を考慮した解説を心がけています。政治に関する出来事や現象を分析する際には、必ずその背景にある歴史的な要素についても触れ、それらを踏まえた上での解説を目指しています。

私は、他のしっかりとした YouTuber チャンネルとの相互補完が大切だと考えています。お互いの専門知識や視点を活かし、政治に関する正確で深い情報を共有することで、より多くの人々が政治についての理解を深められれば良いと思っています。

皆様の応援を願いながら、より良い情報提供を続けたいと思っています。

渡辺惣樹

<https://youtu.be/yoShQOIqDhE> 15分余りの必見動画です



<https://www.youtube.com/watch?v=yoShQOIqDhE>

## ⑧なぜロシアを悪く描くのか、その理由がわかりますか？ロシアは世界一の資源国と言われ、国際金融資本などから常に狙われてきた。(2023年11月13日)

※投稿者コメント:レックス・ティラーソンのような一部の賢い人々はそれを理解しているが、人々はそれを無視している。ロシアが世界最速のサプライチェーン貿易ルートを支配すれば、全てが変わる。これが今日のビデオの最新情報だ。さて、本日のスポンサーに注目してほしい。今週紹介したニッケルをめぐるプーチンの動きと直接結びついている。これはかなり衝撃的なニュースです。

イーロン・マスクが一夜にしてニッケルを世界で最も重要な商品のひとつにするまでは、ニッケルはかなり退屈な商品であったことをご理解いただきたいと思います。アメリカでは 5 セント硬貨であっ

ただだけでなく、ニッケルはニッケルメッキやバスルーム、蛇口などにしか使われていませんでした。

そして投資家たちは、ニッケルはどこで手に入るのか？そして、アメリカはニッケルを 100%輸入していることに気づいた。そう、100%だ。私たちは何も生産していない。

アメリカ国内には稼働中の鉱山はゼロ。バイデン政権は莫大な資金と労力を投入して、米国内の自動車をすべて電気自動車に移行させ、内燃機関を廃止した。リチウム電池とニッケルへの依存度は非常に高い。

さて、念のためご理解いただきたいのだが、世界の 3 大ニッケル産地は、インドネシア、フィリピン、そしてなぜアメリカがフィリピンに 4 つの軍事基地を置いていると思うだろうか？

しかし、世界最大のニッケル産地、そして世界最高のニッケル産地は、ご想像の通り、ロシア、シベリアのノリリスク(Norilsk)である。

プーチンがアメリカに売ると思うか？

今週、ロシアは鉱物、ダイヤモンド、その他の貴金属をめぐるさらなる制裁を発表したばかりだ。

では、プーチンがアメリカに鉱物を売る可能性はあると思いますか？いやいや、彼は自分の製造に使うだろう。

ゲームオーバーだ。

これがどれほど大きなことかわかるか？

<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1724031615071035728/photo/1>

UNIN Your trusted source for investing success

VIDEOS COMPANIES PRESS RELEASES TOP STOCKS PRIVATE PLACE

TRENDING RESOURCE TECH LIFE SCIENCE ARTIFICIAL INTELLIGENCE OIL & GAS BATTERY METALS URANIUM

BET:CC NorthStar Completes \$10.3 Million Financing APE:CC Appia Reports Extraordinary Assay Drill Results

### Top 9 Nickel-producing Countries (Updated 2023)

Melissa Pistilli | May. 29, 2023 02:00PM PST

Indonesia, the Philippines and **Russia** were the top nickel-producing countries in 2022. Interested in nickel investing? Find out which other nations made the list.

Stay one of our s

First na

Last na

10:29 / 14:48

Putin's redline is DEVASTATING for the unipolar order, and he's not BLUFFING | Redacted News

<https://twitter.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1724031615071035728/photo/1>